

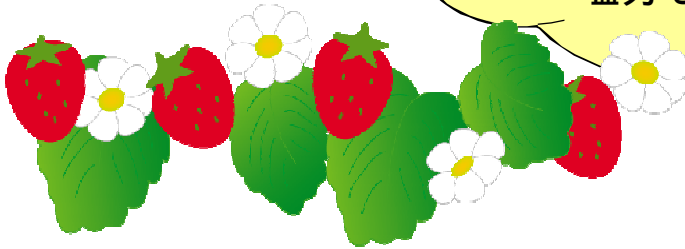
# みつばちを利用される園芸農家の皆様へ

(みつばちの適切な管理と働きやすい環境作りをお願いします。)



## 1. 管理する際に気をつけてほしいこと。

新鮮な水を給水してください。  
給餌(代用花粉)してください。  
巣箱はむやみに動かさないでください。  
塩分も補給してください。



## 2. 働きやすい環境作りをお願いします。

みつばちが活動しやすい「**温度**」と「**湿度**」  
にしてください。

(活動適温:20~25、湿度:75%以下)

ハウスの天井を閉めてください。

- ・ハウスの外にみつばちが好む花があると  
作物へ訪花しなくなります。
- ・外気温が低かったり、入り口が分からなくな  
って戻ってこれなくなります。

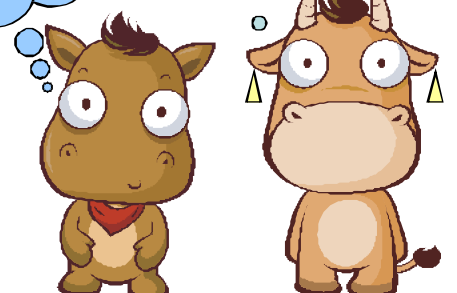
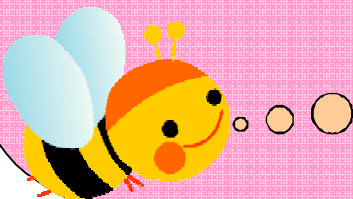
みつばちを訪花させる時は、紫外線カット  
フィルムの設置は控えましょう。  
(みつばちは、紫外線を活用して蜜や花粉  
を採取します。)

そうだよ。  
水と餌だけじゃ  
頑張れないん  
だ。

みつばちも  
塩分が必要  
なんだね。

ふむ  
ふむ

使い捨てに  
しないでね。



### 3. 薬剤の使用について



農薬等の薬剤を使用される時は、巣箱をハウスの外に出しましょう。  
外が寒いときは保温してあげましょう。

農薬等の薬剤を使用した後は、ハウス内の換気を充分に行い、数日間はハウス内にみつばちを入れないようにしましょう。  
(薬臭が残るハウス内では、みつばちは不快な場所と学習し、巣箱から出にくくなります。)

私達は、薬剤が苦手なのよ。

私達の疾病は、この他にもあるよ。



#### [ワンポイント]

#### 家畜法定伝染病について

「家畜伝染病予防法」で定められている病気で、以下の病気が発生した際はお近くの家畜保健衛生所まで報告する必要があります。

(法定伝染病)

・腐蛆病(ふそびょう)

(届出伝染病)

・チョーク病

・バロア病

・ノゼマ病

・アカリダニ症

みつばちの飼育届けについては、お住まいの家畜保健衛生所に相談してみてください。

### 4. みつばちの主な病気

#### 腐蛆病(ふそびょう、法定伝染病)

細菌性の伝染病です。病原菌がみつばちの口から入って蜂児の体内で繁殖し、腐っていく疾病です。

#### チョーク病(届出伝染病)

ハチノスカビが原因で感染する疾病です。飼育環境が悪化した場合に発生しやすいです。

#### バロア病(届出伝染病)

ミツバチヘギイタダニ寄生による吸血を原因とするみつばちの寄生虫病の総称です。幼虫の発育障害などを引き起こします。

交配用みつばちを飼育するのに届出義務はないけど、届けておく必要に応じて腐蛆病の検査に来てもらえるよ。

#### お問い合わせ先

中国四国農政局 生産経営流通部 園芸特産課  
畜産課

消費・安全部 安全管理課

住所:岡山県岡山市北区下石井1丁目4番地1

T E L:086-224-4511(代)

